

外部評価軽減要件確認票

【重点項目への取組状況】

重点項目	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 地域行事への参加等、本年度目標達成に向けた積極的な取り組みがある。ホーム行事には地域からの参加・手伝いもあり、交流は良好に進捗している。	評価
重点項目	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 2カ月に一回の会議開催がある。ホームの取り組み・予定等を報告し、ホームからの協力を依頼するなど、活発な意見交換の場となっている。聞き取った意見・助言・相談等には速やかに対応し、運営に活かす取り組みがある。	評価
重点項目	市町村との連携（外部評価項目：4） 市との連携は主に法人が行っており、ホーム単独での関わりは行っていない。法人が収集した情報については、ホーム職員周知で、運営に反映させている。	評価
重点項目	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 介護計画見直し時・面会時等、直接的に意見・意向を聞き取る機会が多く、聞き取った内容は職員周知の上、速やかに個人の介護計画・ホーム運営に反映させている。今回家族アンケートでも、ホームの対応に対する満足度はある。	評価
重点項目	その他軽減措置要件 「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。 運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	評価 ×
総合評価		

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

ホームの改善課題を年度目標に落とし込み、適切な改善活動がある。法人ぐるみで取り組む、組織的な計画・実践活動は見事な連携であり、ホーム運営に何ら不安は感じられない。ただ、この軽減要件で求められる「運営推進会議に市町村職員が必ず出席している」に対して、当初から市の反応も薄く、ホームからの働きかけも叶わぬまま現在にまで至っていることが残念でならない。今後、この軽減要件を満たすためにも、市への働きかけ・話し合い等が求められる。

1. 外部評価軽減要件

別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。

運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。

運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件 における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認（記録、写真等）できること。

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	（例示） 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	（例示） 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	（例示） 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

（注）要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。